

令和2年度 北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン懇談会 次第

1 開会

・令和2年度北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での開催とさせていただきます。

2 議 題

(1) 定住自立圏の形成に関する協定の見直しについて 資料1

【説明】

これまでも協定に基づき広域で連携した取組を推進してきていますが、来年度から新たに「通年雇用の促進」および「防災」の2つの協定項目を追加して取り組んでまいります。

協定の内容は資料1をご確認ください。新たな協定に基づく具体的な取組は定住自立圏共生ビジョンの変更と併せて次項で説明いたします。

(2) 定住自立圏共生ビジョン掲載事業の取組状況および定住自立圏共生ビジョンの変更等について 資料2 参考資料

【説明】

資料2に沿って説明いたします。

定住自立圏共生ビジョンは、協定に基づいて広域で行う取組をまとめたものとなっており、取組にかかる事業費などを毎年時点更新しています。

今回の変更により削除する部分を見え消し、および追加する部分を朱書きで表示しています。

予算・決算に伴う事業費の増減など、軽微な変更は説明を割愛します。

【主な変更箇所】

ページ	内容	変更理由
P18	(4) 通年雇用の促進 ア 通年雇用の促進 イ 人材育成 を追加	通年雇用の促進に関する取組について、新たに協定を締結して取り組んでいくこととしたため、項目を追加
P19	(2) 防災 ア 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修 イ 災害時の相互応援体制の整備 を追加	防災に関して、新たに協定を締結して取り組んでいくこととしたため、項目を追加

<p>P24</p>	<p>I - 1 医療 (2) 圏域医療体制の充実 ア 道北北部連携ネットワーク整備事業 令和3年度事業費見込の増加など</p>	<p>名寄市立総合病院が、道北3次医療圏のセンター病院・救命救急センターとしての役割を維持するため、上川北部医療圏の中核2病院のより強い連携の一つの手法として、令和2年9月に地域医療連携推進法人「上川北部医療連携推進機構」を設立。今後、地域医療の質と経営効率の向上に向け具体的な取り組みを実施してまいります。</p> <p>令和3年度には医療と介護の情報を連携させたICTネットワークを構築するためのシステムの導入を予定しています。</p>
<p>P33</p>	<p>I - 2 福祉 (2) 福祉体制の充実 ウ こども発達支援相談事業所運営事業 重要業績評価指標 (KPI) 目標値の下方修正</p>	<p>これまで、名寄市および士別市それぞれの目標を合わせて1つの目標値としていましたが、士別市を中心とした広域化の予定がないことから、名寄市こども発達支援相談事業所運営事業のみの目標値に変更いたします。</p>
<p>P34</p>	<p>I - 2 福祉 (2) 福祉体制の充実 エ 基幹相談支援センター運営事業</p>	<p>「障がい者の高齢化や親亡き後も見据え、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような仕組みを構築すること」を目的とし、平成30年度より近隣5市町村（名寄市、美深町、下川町、中川町、音威子府村）で地域生活支援拠点の取組を始めました。地域生活支援拠点については「基幹相談支援センターを中心にして整備する」と国が示していますので、地域生活支援拠点の取組の充実のためにも、令和2年度から基幹相談支援センターの広域化の取り組みを始めました。</p>
<p>P47</p>	<p>I - 4 産業振興 (4) 通年雇用の促進 ア 通年雇用の促進</p>	<p>今回新たに協定項目を追加する「通年雇用の促進」は、すでに広域で取り組んでいる通年雇用促進協議会並びに上川北部人材開発センターの取組を想定した協定となっております。</p> <p>「通年雇用の促進」については季節労働者の通年雇用促進を目的として、士別市を中心に1市3町で「士別地区通年雇用促進協議会」、名寄市を中心に1市3町1村で「名寄地区通年雇用促進協議会」を組織して取り組んでいるところです。</p>

P48	I - 4 産業振興 (4) 通年雇用の促進 イ 人材育成	<p>「人材育成」については、地域経済を支える人づくりのため、地域で働く方々が各々の能力を高め、新たな知識・技術を身につける場である、名寄市に所在する上川北部人材開発センターを、北海道と関係自治体が負担金を支出して運営しております。</p> <p>新たに始まる取組ではありませんが、圏域で取り組んでいる広域連携事業であることから、新たに協定項目として追加して取り組んでまいります。</p>
P52	I - 5 その他 (2) 廃棄物処理施設の広域利用の推進 ア 一部事務組合等の広域処理の推進	<p>幌加内町では従来の名寄地区衛生施設事務組合への委託処理に加え、し尿処理についても北空知衛生センター組合から士別市下水処理施設への処理に移行し、圏域での広域化処理を進めました。</p>
P62	II - 2 道路等の交通インフラの整備 (1) 交通ネットワークの形成 ア 各種期成会活動の推進	<p>J R 宗谷本線の維持や利便性向上等を目的とする宗谷本線活性化推進協議会では、令和元年度・令和2年度の2ヶ年度限定で北海道と連携して、J R 北海道の利便性向上に資する取組への支援として北海道全体で支援を行います。</p>
P67	II - 4 圏域生活基盤維持対策 (2) 防災 ア 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修	<p>今回新たに協定項目を追加する「防災」について、広範囲に及ぶ災害が発生した際など、広域での取組が重要となることから新たに協定項目に追加し、取り組んでいくことといたしました。</p> <p>「ア 天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修」は、天塩川流域の自治体職員を対象として年1回行っている研修です。</p>
P68	II - 4 圏域生活基盤維持対策 (2) 防災 イ 災害時の相互応援体制の整備	<p>「イ 災害時の相互応援体制の整備」は、地震や台風、豪雨などの大規模自然災害が広範囲にわたり発生した場合、それぞれの自治体が単独で対応することが厳しくなることも想定され、その際には物資や避難施設の相互提供など、自治体間の連携が重要となりますので、有事に備えた相互応援体制の整備を目的とした事業です。</p> <p>【事業費】の部分には各自自治体で取り組んでいる資機材整備費、備蓄品購入費などを掲載しております。</p>

P74	北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン策定経過	令和2年度の主な取組を追記
-----	--------------------------	---------------

なお、参考資料として、重要業績評価指標（KPI）の内訳を添付しておりますのでご覧ください。

3 その他

- ・委員謝礼として5,000円を年度内に振り込む予定です。
- ・委員任期は今年度(令和3年3月)までとなっていますが、各市町村担当より再任の依頼があった際は引き続きよろしくお願いいたします。

4 閉会